

町制施行50周年記念

平成20年度

三好町体育祭

夏の暑さも遠のき、吹く風が心地よい、そんなスポーツ日和となった10月12日、三好公園陸上競技場で三好町体育祭が開催されました。昭和33年から毎年開催され(昭和34年は伊勢湾台風の影響で中止)、今回で50回目を迎えるこの大会。町内の25行政区からおよそ5,000人が参加し、地区対抗競技で優勝目指して熱戦が繰り広げられました。走って、転んで、笑って、声を枯らして応援。多くの方がスポーツの秋を満喫した一日を写真を中心に紹介します。





▲みよしピンコロ劇団の皆さんの指導の下「ピンコロ体操」で準備体操

かなおひろし
▲金乙浩さん(明知上)が「正々堂々、真剣に、楽しく競技します」と選手宣誓



▲開会式の音楽を演奏する南中学校吹奏楽部

昨年度優勝の明知上行政区を先頭に、参加団体が力強く入場行進。加藤孝治さん(平池)によって、大会の無事を見守る聖火がともされ、華やかに開幕しました。

開会式

▼両軍入り乱れての大熱戦



綱取り

子ども会競技の「綱取り」。10本の短い綱を紅白に分かれて一斉に奪い合います。どの綱を取りに行くかチームの作戦が勝負の分かれ目。



▲「早く誰か助けに来て～」
「待ってろ、すぐ行くぞ～」

「大玉ころがし」では、バトン代わりに巨大な玉に各地区の老人クラブの皆さんが悪戦苦闘。しかし中には、玉を片手でコントロールする「つわもの」もはつらつとした姿に大きな声援が飛んでいました。

大玉ころがし

▲1着でゴール!



▲途中でほかのチームを抜くことが難しいこの競技。スタートダッシュに成功!

15人16脚

小学生オーブン種目の15人16脚「みんな横一直線」。歩幅とリズムを合わせるのが肝。練習でうまくできて緊張する本番はまた別物です。転んでも転んでも最後までみんな一緒に笑顔で駆け抜けました。



▲待って待って。止まりたくても止まれない～



▲歩幅に合わせてイチツニッ！イチツニッ！

◀見よこのスピード。風を切ってこのままゴールだ！

▶やっとゴールで
あんど
安堵の笑顔



大なわとび

ここからが25の行政区対抗で争われる地区対抗競技のスタートです。最初の種目「大なわとび」は、50回以上跳ぶと最高10点まで取ることができ、最も高得点を狙える種目です。過去の結果を見ても「大なわとびを制するものが体育祭を制する」と言っても過言ではありません。それだけにどの行政区もしっかり練習をして挑みました。



▲各チームごとに、メンバーの身長順や、性別など人の並び方はさまざま。さあ頑張って跳ぶぞ～。



▲まだまだ余裕。笑顔でジャンプ



▲縄をよく見て、集中集中



▲呼吸を合わせてリズムカルに



▲「ピン立て」。年の差あっても真剣勝負



▲「パン食い」。むぎゅ〜と、とつ取れない…



▲「ピン釣り」。慌てると糸がゆらゆら

▶障害物の最難関「ボール背かご入れ」。競技者を毎年固定しているチームがあるほどのかなりの技術が必要。

さまざまな障害物を、リレー形式で突破。2週してゴールを目指す「障害物リレー」。スピードやパワーよりも、技術や失敗をしても慌てない精神力を必要とする競技です。

障害物リレー

「むかで競争」。大逆転で勝利の雄たけび「うおー！」

▶「フライングディスク」で惜しくも的をはずして、この表情。「きい〜悔しい〜」



「玉入れ」の勝敗は時の運？ いえいえ、そうとも言い切れないようです。玉を拾う人と投げる人に分けるチームや、全員で意気の合った掛け声で一斉に「まとも投げ」をするチームなど、さまざまな工夫をしています。意外と奥が深い競技なのかもしれません。

◀うまく入らず歯がゆい思いも

玉入れ



▲急いで玉を拾って。早く早く。



▲同時に数個投げる作戦



▲こちらは中央に集まる作戦

綱引き

力を出し切った後はチームみんなが
思わず笑顔になってしまふこの競技。
たとえこの日が初対面でもこの瞬間か
らはまさに「戦友」。綱引きの持つ不思
議な一体感が地域力の向上に一役買っ
てくれたのではないだろうか。



▲意地とプライドを懸けた三好ダービー
(三好上 VS 三好下)



▲こちらはチームカラーも同じ明知ダービー
(明知上 VS 明知下)



よっしゃー！
全力を尽くしての
勝利はまた格別



▲勢いがつき、
ひっくり返って大笑い



▲スピードに乗って第1コーナー
を駆け抜ける



▲緊張の一瞬。号砲と同時に好スタートを切る
第1走者

クライマックスは三好町体育祭
の花形「年齢別リレー」。各行政区
の「脚自慢」が集結しました。

年齢別 リレー



▲声援に応えながらゴール！



▲バトンの受け渡しを失敗しないよ
うに気合を入れて「こっちこっち！」



目指すゴールには総合優勝の
栄光が待ちかまえている

■平成20年度三好町体育祭地区対抗競技成績表

順位	種目 地区名	大なわ とび	綱引き	障害物 リレー	玉入れ	年齢別 リレー	合計得点
優勝	打越	7	4	5	6	6	28
準優勝	西一色	4	3	6	6	6	25
3位	福谷	4	5	4	5	6	24※
4位	三好下	5	4	5	6	4	24※
5位	平池	6	4	4	6	4	24※
6位	明知上	5	4	4	5	5	23

※合計得点と同じ場合、種目別で順番に1位、2位の獲得数の多いチームを上位とする

地区対抗競技のすべてを終えた結果、「大なわとび」で唯一35回を飛んで7点を獲得した打越行政区が優勝。わずか1年で優勝旗を奪還しました。2位以下もまれに見る大接戦。熱戦の余韻を残しつつ体育祭は幕を閉じました。

閉会式



優勝

打越行政区

木戸鋼蔵区長

昨年は明知上に13連覇を阻まれ、惜しくも優勝を逃して悔しい思いをしました。その悔しさを胸に、子どもからお年寄りまで、多くの区民が練習に参加して頑張ってくれました。それだけに今回の優勝は喜びもひとしおです。打越チームの特徴は明るく元気なところ。チームワークが良く、体育祭の準備も朝早くから皆さん集まってくれました。コミュニケーションの輪や皆さんの協力的体制が地域力の強さだと思っています。それが打越の伝統です。



取材を終えて

今回の取材を通して地域の底力を垣間見た気がします。地域力の低下が叫ばれて久しいですが、体育祭で子どもからお年寄りまで、元気な皆さんの笑顔にそんなことないぞ。三好は大丈夫とパワーを分けていただきました。まだ参加したことのない人は、来年はぜひ参加してみてください。学校や職場の体育祭とは一味違った盛り上がりや体験するきっかけと笑顔になれると思います。※体育祭の参加方法はそれぞれの行政区ごとに異なりますので、区の事務所にお尋ねください。

